

議会の新体制 決まる

6月の市議会定例会は、6月8日から23日までの会期16日間で開催されました。
議員の選挙から2年が経過した本定例会では、議長、副議長の辞職に伴う後任の選挙を行い、議長に蔵本久議員、副議長に桑原正和議員を選出しました。
また、議会選出の監査委員の選任の同意や、任期満了となる常任委員会委員、議会運営委員会委員の選任、さらに特別委員会の委員の一部交代などを行い、議会内の新しい体制が決まりました。

就任のあいさつ

福山市は、本年市制施行90周年という大きな節目の年を迎えました。

市民の皆さまの深い郷土愛と英知と努力により、今日、備後の中核都市として発展を続けており、今後ますます市議会の果たす役割は大きくなるものと考えております。議決機関、監視機関としての役割を果たすとともに、市民の皆さまの願いを市政に反映し、郷土福山のさらなる発展のため、積極的に議会活動を展開してまいります。

この市議会だよりで、その活動内容をお伝えしてまいりますので、ご覧いただくとともに、引き続き議会活動へのご理解とご支援をお願い申し上げます。



蔵本議長(左)と桑原副議長

■議長・副議長の略歴

蔵本久議長

昭和55年から現在までの間、議長、監査委員、議会運営委員会委員長、総務常任委員会委員長などを歴任、鞆町、60歳

桑原正和副議長

平成4年から現在までの間、監査委員、建設農林常任委員会委員長、競馬事業特別委員会委員長などを歴任、駅家町、59歳

■議会選出監査委員の略歴

上野健二委員

昭和59年から現在までの間、副議長、議会運営委員会委員長、民生福祉常任委員会委員長などを歴任、鞆町、63歳

小川勝己委員

平成4年から現在までの間、農業委員、総務常任委員会委員長、競馬事業特別委員会委員長などを歴任、千田町、48歳

市議会の構成

